

CHQ 都道府県協会ミーティング（47 都道府県訪問会議） 全体総括(JFA としての見解)

1. 開催日程：2006 年 7 月 31 日～9 月 27 日

- ・ 原則 1 日 1 協会として、約 2 ヶ月間という日程は、適当だと考える。議事録展開、その後の 9 地域訪問会議等を考えると 8 月末頃に全日程を終了することが望ましい。

2. ミーティング時間：2 時間～2 時間 30 分

- ・ 都道府県協会の出席者数・資料の事前把握・JFA 事業の理解度等により、会議時間に変動があり、2 時間を越える場合もあったが、事前に会議時間を最大 2 時間に設定したことは、意義が大きかった。会議実施にかかる労力(出席者の移動・資料準備・諸連絡等)・コスト等を考えると、より時間を延ばした方が効果的であるとお互いに合意できる場合は、総合的な判断として延長しても良いと考える。但し、説明内容の事前徹底や工夫により、更に時間を短縮し、効率的なミーティング運営を行うことは検討できる。

3. 場 所：会議場／都道府県協会事務所等

- ・ 各都道府県協会の事務所に出向き、実際に職場の環境を拝見することは、CHQ・CHQ 以外の部署の方にとって、都道府県協会の日常業務をより深く理解する上でも重要である。

4. 出席者：都道府県協会メンバー（4～40 名）／CHQ メンバー（2 名）／他部署（1～4 名）

<都道府県協会>

- ・ 今年度変更点の一つとして、出席者を広く募り、理事・各種委員長・市区郡町村協会役員等に出席頂いたことで、都道府県協会および会議そのものの活性化に繋がるとともに、相互理解・浸透が深まり、有効なミーティングとなった。

<JFA>

- ・ CHQ2 名に加え、他部署のメンバー出席は、都道府県協会に対する理解度を深めるとともに、JFA (CHQ) の取り組みを把握でき、今後の業務のモチベーションやコミュニケーションの向上を図る上でも効果があった。

5. 議題／内容：

- 1) はじめに 約 5 分
 - ミーティングの主旨
 - 1) 都道府県協会⇔JFA 間の直接的コミュニケーションを取る
 - 2) 都道府県協会の実情を把握する
 - 3) 都道府県協会内の議論として活用する
 - JFA 側 出席者 紹介
 - 都道府県協会側 出席者 紹介
- 2) J F A より 約 45 分～90 分
 - [説明／ヒアリング]
 - 1) 「JFA2005 年宣言」とキャプテンズ・ミッション 【資料 1】
 - 2) CHQ 関連業務指針（ミッション 9：地域／都道府県協会の活性化） 【資料 1】
 - 3) ミッション活用度／都道府県協会チャート 【資料 2】【資料 3】
 - 4) 「JFA2005 年宣言」の浸透／PR と具体的アクション 【資料 4】
 - 5) CHQ タスクフォース（“組織”と“登録”） 取り組み状況 【資料 5】
 - 6) サッカーファミリー拡大に向けた取り組み 【資料 6】
 - 7) 都道府県フットボールセンター 整備推進事業 【資料 7】
 - 8) 事業規模拡大に向けた取り組み 【資料 8】
 - 9) 次年度以降の各種支援制度 【資料 9】
 - 10) 「都道府県協会からの事前リクエスト」(複数)
- 3) 都道府県協会より 約 5～60 分
 - [確認]
 - 1) 2002 年度以降の振り返り ～“成果”と“課題”～
 - 2) 各都道府県協会の目標設定(「JFA2005 年宣言」を踏まえて)
 - [ディスカッション ～今後に向けて～]
 - 1) 「都道府県協会からの事前リクエスト」(複数)
- 4) JFA (CHQ) へのご要望事項 約 10 分
 - キャプテンズ・ミッション／CHQ の業務方針・進め方等 【資料 10】
 - その他 JFA 全般 【資料 10】
 - その他

・ JFA 側の説明事項を極力絞ることにより、各都道府県協会から個別リクエストのあったテーマを含め、質疑応答・ディスカッションの割合を高めたことは効果があった。但し、会議の主旨・JFA の取り組みについて、出席者全員に一定レベルの基礎知識を持って頂くことも必要と感じた。また、各都道府県協会の 2002 年度以降の成果と課題を把握することができ、都道府県協会が独自の目標を設定する上でも、有効であったと考える。

6. その他：

・ サッカーに従事できる常勤役員・事務局員が増え、昨年度よりも、会議運営も充実し、会議内容に関しても活発な意見交換がなされ、有意義であった。また、懇親会に関しても、会議で足りなかった部分の話し合いができ、更にコミュニケーションも図られるため、非常に重要であった。